



平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場取引所 東 大

上場会社名 大和冷機工業株式会社
 コード番号 6459 URL <http://www.drk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 敦史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理本部長 (氏名) 那須 元彰
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06-6767-8171

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	21,818	△2.8	4,728	△13.2	4,789	△12.7	3,167	△20.7
21年12月期第3四半期	22,458	—	5,445	—	5,488	—	3,993	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	61.61	—
21年12月期第3四半期	77.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	47,177	39,000	82.7	758.71
21年12月期	43,350	36,356	83.9	707.17

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 39,000百万円 21年12月期 36,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年12月期	—	5.00	—		
22年12月期(予想)				5.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,800	△8.1	4,500	△32.6	4,600	△31.6	3,100	△36.3	60.30

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、添付資料の3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期3Q 51,717,215株 21年12月期 51,717,215株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 312,908株 21年12月期 306,658株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 22年12月期3Q 51,407,614株 21年12月期3Q 51,417,297株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページの「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
品目別売上高	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円高に伴い景気回復を牽引していた輸出分野に陰りが見え始め、雇用・消費動向も依然として厳しく、先行きについては不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、主要取引産業の外食産業にあつては、長引く景気低迷から消費者の節約志向による外食控えの影響が継続し、また、食品業界や一般小売業等にあつても、価格競争が続くなど引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況のなかで、当社グループは、競争優位性を高めるべく、環境に配慮した製品の開発、コスト競争力の強化、営業体制の強化を推進しつつ、既存顧客との相互信頼関係の構築、新規顧客の開拓、サービス体制の充実に取り組み、業績の維持向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は21,818百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益4,728百万円（前年同期比13.2%減）、経常利益4,789百万円（前年同期比12.7%減）、四半期純利益3,167百万円（前年同期比20.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,827百万円増加し、47,177百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加3,565百万円、リース投資資産の減少845百万円等により流動資産が2,986百万円増加し、長期性預金の増加1,500百万円、繰延税金資産の減少264百万円、有形固定資産の減少257百万円等により固定資産が840百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,182百万円増加し8,176百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加981百万円、引当金の増加297百万円等により流動負債が1,151百万円増加したことによるものであります。

この結果、純資産は前連結会計年度末に比べて2,644百万円増加し、39,000百万円となり自己資本比率は82.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べて565百万円増加し、24,114百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は5,730百万円（前年同期は7,770百万円の資金の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4,709百万円、仕入債務の増加981百万円、リース投資資産の減少845百万円、減価償却費429百万円、賞与引当金の増加297百万円などが、法人税等の支払額1,450百万円を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は4,662百万円（前年同期は885百万円の資金の増加）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出8,000百万円が、定期預金の払戻による収入3,500百万円を上回ったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は502百万円（前年同期は501百万円の資金の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額499百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年2月12日に発表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

重要な特定子会社の異動はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

・棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として算定しております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,114,193	25,548,627
受取手形及び売掛金	3,099,790	3,057,047
リース投資資産	913,400	1,759,155
商品及び製品	1,029,538	885,173
仕掛品	242,662	217,426
原材料及び貯蔵品	301,840	241,435
点検修理用部品	230,790	248,688
その他	742,269	761,601
貸倒引当金	△25,082	△56,057
流動資産合計	35,649,403	32,663,096
固定資産		
有形固定資産	7,895,458	8,152,772
無形固定資産	75,533	102,748
投資その他の資産		
投資有価証券	77,243	87,329
その他	3,728,654	2,576,004
貸倒引当金	△248,833	△231,780
投資その他の資産合計	3,557,064	2,431,553
固定資産合計	11,528,056	10,687,073
資産合計	47,177,460	43,350,170
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,956,542	1,975,173
未払法人税等	791,507	874,813
引当金	551,969	254,065
その他	1,803,705	1,848,375
流動負債合計	6,103,726	4,952,427
固定負債		
退職給付引当金	1,084,438	1,072,520
役員退職慰労引当金	971,028	943,623
その他	17,545	25,479
固定負債合計	2,073,012	2,041,623
負債合計	8,176,738	6,994,051

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,907,039	9,907,039
資本剰余金	9,867,880	9,867,880
利益剰余金	19,404,514	16,751,238
自己株式	△176,570	△173,907
株主資本合計	39,002,864	36,352,250
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,143	3,868
評価・換算差額等合計	△2,143	3,868
純資産合計	39,000,721	36,356,119
負債純資産合計	47,177,460	43,350,170

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	22,458,538	21,818,836
売上原価	8,959,291	9,026,069
売上総利益	13,499,247	12,792,767
販売費及び一般管理費	8,053,590	8,064,479
営業利益	5,445,656	4,728,288
営業外収益		
受取利息	28,836	33,598
受取配当金	1,306	1,358
スクラップ売却収入	30,780	73,658
その他	74,870	72,155
営業外収益合計	135,794	180,772
営業外費用		
賃借契約解約損	—	30,120
スクラップ処分費	52,690	53,181
その他	39,854	35,882
営業外費用合計	92,545	119,184
経常利益	5,488,904	4,789,875
特別利益		
固定資産売却益	—	827
貸倒引当金戻入額	1,895	2,180
特別利益合計	1,895	3,007
特別損失		
固定資産売却損	876	5,503
固定資産除却損	1,196	78,077
特別損失合計	2,072	83,581
税金等調整前四半期純利益	5,488,728	4,709,302
法人税、住民税及び事業税	1,281,762	1,400,832
法人税等調整額	213,537	141,106
法人税等合計	1,495,299	1,541,938
四半期純利益	3,993,428	3,167,363

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,488,728	4,709,302
減価償却費	523,989	429,950
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15,571	△13,923
賞与引当金の増減額(△は減少)	357,806	297,320
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,800	△100
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△9,388	684
退職給付引当金の増減額(△は減少)	54,115	11,917
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	21,792	27,405
受取利息及び受取配当金	△30,143	△34,957
支払利息	7,806	—
固定資産売却損益(△は益)	876	4,676
固定資産除却損	1,196	78,077
売上債権の増減額(△は増加)	744,918	10,551
リース投資資産の増減額(△は増加)	1,336,916	845,754
たな卸資産の増減額(△は増加)	65,359	△212,108
仕入債務の増減額(△は減少)	△89,117	981,368
その他	△117,575	15,901
小計	8,369,053	7,151,819
利息及び配当金の受取額	30,011	26,692
利息の支払額	△7,806	—
法人税等の支払額	△744,485	△1,450,753
法人税等の還付額	123,774	2,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,770,546	5,730,359
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,000,000	△8,000,000
定期預金の払戻による収入	3,000,000	3,500,000
有形固定資産の取得による支出	△99,410	△216,723
有形固定資産の売却による収入	102	7,740
無形固定資産の取得による支出	△20,210	△7,720
その他	5,319	54,473
投資活動によるキャッシュ・フロー	885,801	△4,662,229
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,500,000	—
短期借入金の返済による支出	△2,500,000	—
自己株式の取得による支出	△4,324	△2,662
配当金の支払額	△496,812	△499,902
財務活動によるキャッシュ・フロー	△501,137	△502,564
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,155,211	565,565
現金及び現金同等物の期首残高	15,515,704	23,548,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,670,915	24,114,193

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

品目別売上高

品目		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	
		金額(千円)	構成比(%)
製品	厨房用縦型冷凍冷蔵庫	5,546,251	25.4
	店舗用縦型ショーケース	4,142,819	19.0
	横型冷凍冷蔵庫	1,610,212	7.4
	製氷機	1,900,442	8.7
	小計	13,199,725	60.5
商品	店舗設備機器	1,861,035	8.5
	厨房設備機器	1,355,221	6.2
	店舗設備工事	85,334	0.4
	小計	3,301,591	15.1
点検・修理		2,171,369	10.0
リース料収入等		3,146,150	14.4
合計		21,818,836	100.0